



# エコアクション21 2018年度 環境活動レポート



＜対象期間： 2018年4月～2019年3月＞

沖縄マツダ販売株式会社

2019年6月1日発行

## 1) 事業社名及び代表者氏名

沖縄マツダ販売株式会社  
代表取締役社長 土井 耕輔

## 2) 所在地

沖縄県浦添市勢理客4丁目1番5号

## 3) 設立

昭和25年6月

## 4) 資本金

2,000万円

## 5) 事業内容

乗用車・商用車の新車販売  
中古自動車販売  
自動車部品・用品等の販売  
自動車整備業  
損害保険代理業 等

## 6) 事業の規模

店舗数:	4店舗	
従業員数	104人	(2018年度)
年間売上高	39億円	(2018年度)
年間新車販売台数	1,756台	
年間整備在庫台数(有償・無償)	27,540台	

## 7) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	執行役員 管理本部長 謝花 俊一
---------	---------------------

EA21推進事務局	管理本部 課長 仲本 尚
-----------	-----------------

担当連絡先	TEL : 098-877-3183    FAX : 098-877-4807
-------	--

## 2. 対象範囲

①-01

### 1) 対象範囲 (全組織取組活動対象)

#	店舗名	所在地	電話番号
1	本社	沖縄県浦添市勢理客4-1-5	098-877-3183
2	浦添店	沖縄県浦添市勢理客4-1-5	098-877-6210
3	国場店	沖縄県那覇市国場1066	098-833-5980
4	知花店	沖縄県沖縄市知花6-39-3	098-937-2828
5	北谷店	沖縄県北谷町美浜2丁目1-5	098-989-6650

浦添店



北谷店



国場店



知花店



## ＜基本理念＞

沖縄マツダ販売株式会社 は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

## ＜行動指針＞

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
6. 環境に配慮した製品の提供、及びグリーン購入を推進します。
7. 使用する化学物質を適正管理を徹底します。
8. 事業所周辺の環境美化に努めます。
9. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

制定 2010年 6月 1日  
改訂 2011年 4月 1日  
2015年 7月10日  
沖縄マツダ販売株式会社

代表取締役社長 土井 耕輔

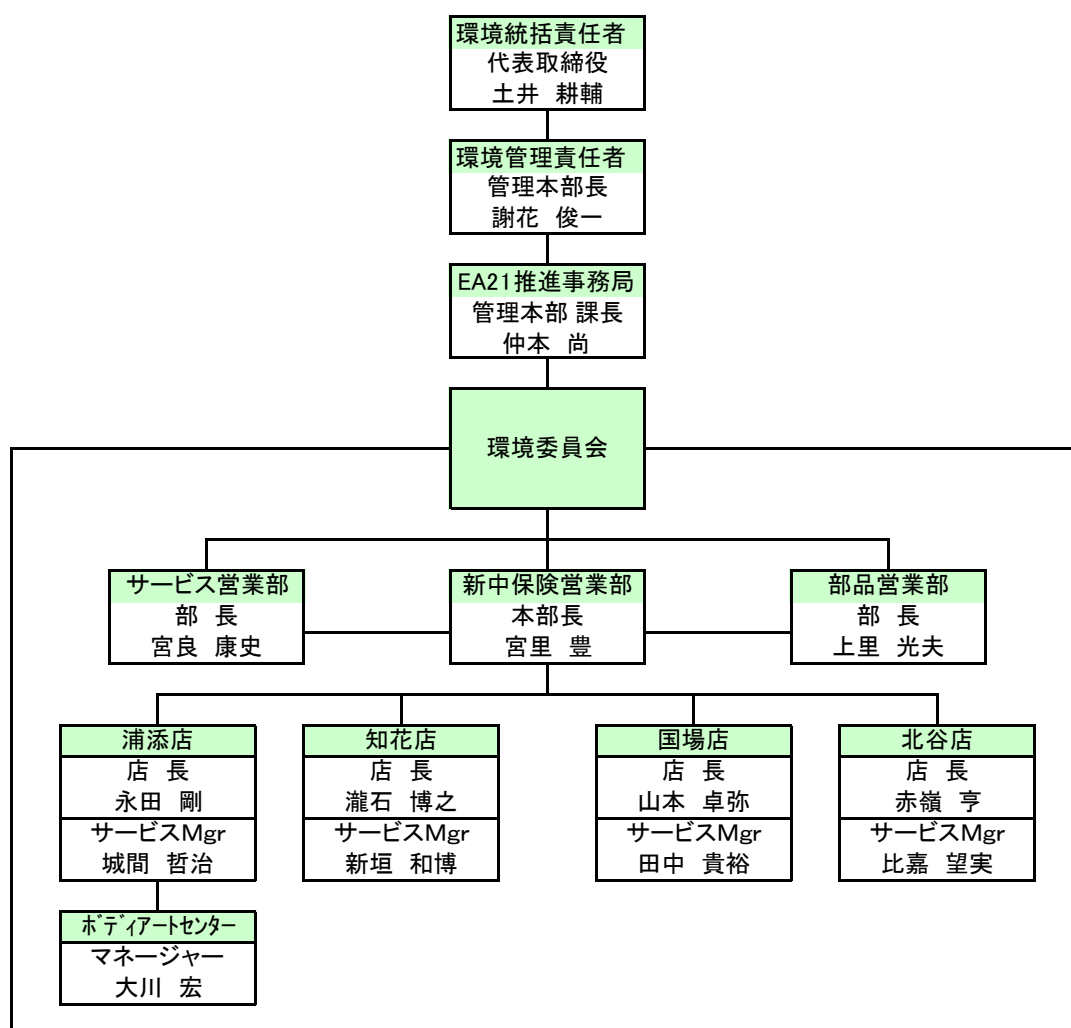
環境目標設定表【全社合計】

作成日: 2018年4月

更新日:

⑤-01

環境方針	環境目標項目	基準値 浦添店 2017年4月-3月 北谷店 2016年-17年 平均値 (基準: 2014年-16年平均)		環境目標 2018年度の浦添店/北谷店の目標値100%		
				2017 年度	2018 年度	2019 年度
二酸化炭素排出量	CO2排出量の削減	電力の使用量削減 389,075 kWh 312,038 kg-CO2 排出係数0.802kg-CO2/kwh	基準年度比	99%	98%	97%
			目標値	308,918 kg-CO2	310,342 kg-CO2	302,677 kg-CO2
		自動車の燃費向上 (ガソリンの削減) ガソリン 22,186 ℓ 軽油 15,734 ℓ 92,800 kg-CO2	基準年度比	99%	98%	97%
			目標値	91,872 kg-CO2	92,268 kg-CO2	90,016 kg-CO2
	その他燃料の向上	LPガス 1,526 m³ 都市ガス 7 m³ 9,496 kg-CO2	基準年度比	99%	98%	97%
			目標値	9,401 kg-CO2	9,495 kg-CO2	9,211 kg-CO2
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 4.194 t	基準年度比	99%	98%	98%
			目標値	4.152 t	4.162 t	4.110 t
	産業廃棄物の削減	62.785 t	基準年度比	99%	98%	98%
			目標値	62.157 t	62.496 t	61.529 t
総排水量	節水	節水 2,711 m³	基準年度比	99%	98%	97%
			目標値	2,684 m³	2,695 m³	2,630 m³
物質投入	グリーン購入	グリーン購入の増加 購入比率 2 個	基準年度比	150%	200%	250%
			目標値	3 個	4 個	4 個
製品	製品への環境配慮	エコカー販売の促進 販売台数 767 台	基準年度比	101%	102%	103%
			目標値	775 台	772 台	790 台
	車両点検実施の増加	入庫台数 6,471 台	基準年度比	101%	102%	103%
			目標値	6,536 台	6,521 台	6,665 台
化学物質	化学物質	化学物質使用量の削減 使用量 340 kg	基準年度比	99%	98%	97%
			目標値	337 kg	333 kg	330 kg



環境統括責任者 ＜代表者・社長＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者</li> <li>・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意</li> <li>・ 環境管理責任者の任命</li> <li>・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・ 環境目標の設定を承認</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 ＜執行役員＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実務上の責任者として、環境取り組みを推進</li> <li>・ ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲</li> <li>・ EMSの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認</li> <li>・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進</li> <li>・ 店舗の環境取り組みの指導・支援</li> <li>・ 環境データの集計・取りまとめ</li> <li>・ 全社環境委員会の事務局</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進</li> <li>・ 担当部門の環境取り組みの責任者</li> </ul>
店舗環境管理責任者 ＜正：店長、副：サービスMgr＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店長： 店舗の環境取り組み全体の責任者として店舗環境取組の推進・管理</li> <li>・ サービスMgr： ME</li> </ul>

### 1. 二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組み

#### 1) 電力使用量の削減

- ① 不要な照明の消灯・節電の徹底
  - ・ エアコンフィルターの定期清掃
- ② 待機電源OFF
  - ・ PCモニター・プリンター・シュレッダー等OA機器の主電源OFF
  - ・ 長期休暇時はコンセントを抜く
- ③ 空調機器の設定温度を管理する。
  - ・ ショールームではお客様に不快感(適度な温度設定)を与えないような適温管理を行う

#### 2) 燃料使用量の削減

- ・ エコドライブ徹底の確認
- ・ 定期点検の実施

### 2 廃棄物排出量の削減

- ・ 両面コピー・縮小コピー・裏紙使用の徹底
- ・ 社内で使用する資料等は カラープリント カラーコピーは原則禁止
- ・ ゴミ分別を徹底し、リサイクル促進
- ・ 産業廃棄物排出量の把握

### 3 水使用量の削減

- ・ 水道使用量を確認・記録し 漏水をチェックする
- ・ 洗車時の節水を徹底する。水道ホース(ガンタイプ)の利用

### 4 グリーン購入の推進

- ・ 環境負荷低減に考慮した商品を優先購入する
- ・ 環境に考慮したOA機器への順次入れ替え

### 5 化学物質の削減

- ・ 塗料の調色時に正確に設定する。
- ・ PRTR法対象物質を適切に管理し、できる限り使用量を控える

### 6 環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供を推進する

- ・ お客様の整備入庫を提案し、燃費向上を図る。  
メンテナンスパックの継続的に販売促進
- ・ 環境対策車への代替を積極的に促進 環境負荷の低減を推進する  
エコカー(スカイアクティブ搭載車)の販売比率を拡大

### 7 その他の取り組み

- 1) 社会貢献活動
  - ・ インターンシップ・職場体験の受け入れ
  - ・ CSアンケート取得 1件につき 50円を寄贈する取り組みを継続する。
- 2) アースアワーへの参加
  - ・ WWFが主催するアースアワーの趣旨に賛同し、同じ日・時刻にライトダウンを実施する

# 2018年度 環境目標の実績

⑫-04

※基準年度：2014年4-2017年3月（平均値）、前年：2017年4-2018年3月、今年：2018年4-2019年3月

※ 浦添店は2017年4月より本社建替えの為 2017年4月-2018年3月の数値を基準値・目標値と設定（化学物質除く）

※ 北谷店 基準年度は2016年4-2018年3月の実績を目標値・平均値とした。

		①温室効果 ガス排出量	②廃棄物排出量		③総排水量（水使用量）		④エネルギー使用量					⑤化学物質 使用量	⑥総製品販売量	
			一般廃棄物	産業廃棄物	下水	公共水域	購入電力	都市ガス	LPGガス	ガソリン	軽油	灯油	台	点検入庫
店舗	単位	kg-CO2	kg	kg	m <sup>3</sup>		kWh	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	ℓ	ℓ	ℓ	kg	台
浦添店	基準年度	245,298	1,731	42,391	1,507	0	225,248	0	1,520	12,490	9,986	0	340	411
	前年	245,298	1,731	42,391	1,507	0	225,248	0	1,520	12,490	9,986	0.0	275	243
	目標値	245,298	1,731	42,391	1,507	0	225,248	0	1,520	12,490	9,986	0	333	411
	今年	228,041	2,303	22,413	1,629	0	221,528	0	1,407	12,105	5,155	0	321	332
	前年比	93%	133%	53%	108%	#DIV/0!	98%	#DIV/0!	93%	97%	52%	#DIV/0!	117%	137%
	対目標比	93%	133%	53%	108%	#DIV/0!	98%	#DIV/0!	93%	97%	52%	#DIV/0!	96%	81%
※	評価	○	×	○	△		○		○	○	○		○	×
知花店	基準年度	62,194	1,136	8,096	378	0	61,698	0	0.30	3,016	1,846	0	-	105
	前年	55,636	905	8,219	367	0	57,627	0	0.4	2,694	1,205	0		67
	目標値	60,104	1,113	7,934	370	0	60,464	0	0.29	2,956	1,809	0		107
	今年	53,156	895	9,490	422	0	56,126	0	7.7	2,098	1,229	0		55
	前年比	96%	99%	115%	115%	#DIV/0!	97%	#DIV/0!	1925%	78%	102%	#DIV/0!	#DIV/0!	82%
	対目標比	88%	80%	120%	114%	#DIV/0!	93%	#DIV/0!	2619%	71%	68%	#DIV/0!	#DIV/0!	51%
※	評価	○	○	×	×		○		×	○	○		×	○
国場店	基準年度	49,697	463	6,378	441	0	44,046	7	0	3,894	2,164	0	-	134
	前年	53,308	643	13,311	456	0	51,448	6.1	0	3,640	1,364	0		114
	目標値	49,058	454	6,250	432	0	43,165	6.9	0	3,816	2,121	0		137
	今年	55,059	852	11,894	529	0	52,505	0.3	0	3,952	1,438	0		140
	前年比	103%	133%	89%	116%	#DIV/0!	102%	5%	#DIV/0!	109%	105%	#DIV/0!	#DIV/0!	123%
	対目標比	112%	188%	190%	122%	#DIV/0!	122%	4%	#DIV/0!	104%	68%	#DIV/0!	#DIV/0!	102%
※	評価	×	×	×	×		×	○		△	○		○	○
北谷店	基準年度	57,646	864	5,920	385		58,083		5.5	2,786	1,738		-	117
	前年	59,926	899	6,054	387		61,299		1.9	2,540	1,853			115
	目標値	57,646	864	5,920	385		58,083		5.5	2,786	1,738			117
	今年	57,942	830	5,787	384		54,867		9.0	3,034	1,623			120
	前年比	97%	92%	96%	99%	#DIV/0!	90%	#DIV/0!	474%	119%	88%	#DIV/0!	#DIV/0!	104%
	対目標比	101%	96%	98%	100%	#DIV/0!	94%	#DIV/0!	164%	109%	93%	#DIV/0!	#DIV/0!	103%
※	評価	△	○	○	○		○		×	△	○		○	○
合計	基準年度	414,835	4,194	62,785	2,711		389,075	7	1,526	22,186	15,734	0	340	767
	前年	414,168	4,178	69,975	2,717		395,622	6.1	1,522	21,364	14,408	0	275	539
	目標値	412,106	4,162	62,496	2,695		386,960	6.86	1,526	22,048	15,654	0	333	772
	今年	391,621	4,880	49,584	2,964		385,026	0.3	1,424	21,189	9,445		321	647
	前年比	95%	117%	71%	109%	#DIV/0!	97%	5%	94%	99%	66%	#DIV/0!	117%	120%
	対目標比	95%	117%	79%	110%	#DIV/0!	100%	4%	93%	96%	60%	#DIV/0!	96%	84%
※	評価	○	×	○	×		○	○	○	○	○		○	×

※ ①②③④⑤ 削減目標値達成 → ○

・削減目標値未達成（目標比110%未満） → △

・削減目標値未達成（目標比110%以上） → ×

※購入電力（沖縄電力）の二酸化炭素排出係数：0.000802 t-CO2/kWh

※エコカー販売台数には軽自動車は含まれていません。

※ ⑥総製品販売量 目標値達成 → ○

目標値未達成（目標比100%未満）

×



## 7. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

### 1) 二酸化炭素排出量の削減

#### ① 電力使用量の削減

＜取組結果＞

- 目標比 ほぼ達成 9月末から10月初めの台風の襲来が要因  
北谷店 台風被害で建物損壊。店舗の営業にも影響があり 電力の使用量が大幅減少
- 本部 PCモニター・プリンターの主電源をOFF 待機電力を削減

＜次年度の取組＞

- 現在の取り組み内容を継続 使用量削減にむけて意識向上していく。

#### ② 燃料使用量の削減

＜取組結果＞

- 自動車燃料使用量 ガソリンは、ほぼ昨年と同数値であったが軽油は前年より減少  
前年比 ▲1%削減 目標比 ▲4%削減。
- 新車店頭販売台数は647台で目標比 ▲16%減少。  
軽自動車の販売が増加した。（前年比 +20%）  
これまでディーゼル車の設定のみであった車両がガソリン仕様も設定され選択肢が増えたのも要因
- 社用車（試乗車）もガソリン車が増加した。
- マツダのスカイアクティブ・ディーゼル車は、現在も世界で最高の燃費水準とNo x 処理不要な  
クリーン排出ガスエンジンにより温室効果ガス削減に貢献している。

＜次年度の取組＞

- スカイアクティブ ディーゼル車を今後も推進し拡販。
- 現在の取り組みの継続。

### 2) 廃棄物排出量の削減

＜取組結果＞

- 一般廃棄物：目標比/前年比 +18%
- 産業廃棄物：目標比 ▲21% 前年比 ▲29%削減
- 事務所から出るゴミの分別、紙類を有価物としてリサイクルに努めたが  
猛暑の為 飲み物の容器類（缶・ペットボトル・ビン）が増加が原因
- 工場から排出される産廃物の内、廃油・バッテリー・金属などを再循環させ、環境への負荷低減に努めた。

＜次年度の取組＞

- 現在の取り組みを継続し 廃棄物削減に向けて意識する。

### 3) 水使用量の削減

＜取組結果＞

- 目標比 +10% 前年比 +9%
- 知花店は台風被害で給水タンク破損 国場店は洗車場設備からの漏水 が原因  
全店舗とも点検入庫台数が増え洗車台数が増加した。

＜次年度の取組＞

- 漏水のチェックを日頃実施する。
- 現在の取り組みを継続し、使用量削減に向けて意識する。

## 7. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

### 4) グリーン購入の推進

#### <取組結果>

- 目標達成。(目標4個→実績 7個)  
本部と部品営業部の複合機を切り替え  
浦添店サービス工場内スポットエアコン5機導入
- 整備代車3台(スカイアクティブ・デミオに切替)

#### <次年度の取組>

- 現在の取り組みの継続
- 今後も整備代車を順次スカイアクティブ車両に切替

### 5) 化学物質の削減

#### <取組結果>

- 目標比 ▲4%削減
- 板金整備在庫台数の減少が主な要因。

#### <次年度の取組>

- 新色の調合ミス撲滅に努める。  
特定化学物質を含まない材料へ順次切替。

### 6) 製品及びサービスにおける環境配慮

#### <取組結果>

- エコカー(スカイアクティブ車)の販売台数は目標比 ▲9% 前年比 +20%
- 点検在庫台数は目標比 +11% 前年比 +6%

#### <次年度の取組>

- 温室効果ガス削減に貢献しているスカイアクティブ車を今後も拡販。
- メンテパック商品は、燃費の向上、環境面にもやさしいことから今後も継続して取り組む

## 7 その他の取り組み

### 1) 社会貢献活動

- インターンシップ・職場体験の受け入れを各店舗で実施
- CSアンケート取得 1件につき 50円を寄贈する取り組みを今後も継続
- 2018年8月 浦添市 2019年4月 沖縄市 災害時の車両提供に関する協定を締結した。
- 浦添市内中学校2校 キャリア支援取り組み事業へお仕事調査隊として参加した。

### 2) アースアワーへの参加

- アースアワーへ参加 全店舗でライトダウンを実施 6月・7月

#### <次年度の取組>

- 現在の取り組みを継続する。

## 1. 環境関連法規

環境関連法規	要求事項	評価			
		浦添店	国場店	知花店	北谷店
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の適正処理</li> <li>収集運搬業者との契約内容</li> <li>処分業者との契約内容</li> <li>マニフェスト管理の遵守</li> <li>保管基準の遵守</li> </ul>	○	○	○	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済自動車の適正処理</li> </ul>	○	○	○	○
水汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時の措置</li> </ul>	○	○	○	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> <li>油水分離槽の清掃及び点検</li> <li>自動車洗車施設(浦添店のみ)</li> </ul>	○ ○	○	○	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定施設の届出 (工場コンプレッサー定格出力7.5kw以上)</li> </ul>	○	○	○	—
消防法 (市町村火災予防条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>少量危険物の貯蔵及び取扱の届出</li> <li>消防用設備の定期点検の届出</li> </ul>	○	○	○	○
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗装・乾燥施設の都道府県知事への届出。</li> </ul>	○	—	—	—
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>3ヶ月に1回、簡易点検の実施(全数)</li> <li>廃棄時の書面交付</li> </ul>	○	○	○	○
化管法	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一種指定化学物質の排出量及び移動量を把握。</li> <li>総取扱量が1t以上は自治体へ届出。</li> </ul>	○	—	—	—
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定化学物質リスクアセスメント実施</li> </ul>	○	—	—	—

(注) 環境関連法規については、2018年7月の業務監査 5月～12月の期間で内部統制自己診断を実施し、法令遵守状況を確認しています。
















※ 遵法: ○ 該当無し: —

## 2. 違反・訴訟の有無













- ・当社は、環境関連法規の違反や訴訟は発生しておりません。
- ・また、環境当局からの違反等の指摘は、過去3年間1件もありません。

## 9.代表者による全体評価と見直しの結果

13-01

活動期間		2018/4/1～2019/3/31	
見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	 実施  未実施	実施記録は毎月記録されている。
	2 環境目標及び目標達成状況	 実施  未実施	一般廃棄物処理量が目標に対して未達だった以外は概ね目標を達成した。一般廃棄物は店舗のクリーンネス、内部統制の観点から不要設備・備品の処理を促進した。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	 実施  未実施	環境活動計画書通り実施された。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	 実施  未実施	環境関連法規は要求事項通り実施された。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	 実施  未実施	特に近隣からの申し入れはなかった。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	 実施  未実施	特になし。
	7 取引先・業界・関係行政機関 その他の外部動向	 実施  未実施	特になし。
	8 その他(内部監査等)	 実施  未実施	内部監査チェックリストに基づき内部監査を実施した。

評価者	代表取締役 土井 耕輔	実施日	2019年4月25日
全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)			
<p>当社は、地域社会に大きな影響及ぼす自動車販売・整備を事業として営んでいます。</p> <p>その自覚のもと、当社ではエコアクションに基づいた環境活動の取組みの目標・進捗管理や振り返りを定期的に行っています。</p> <p>2014年度以降、会社内の各環境項目で改善をすすめています、加えて2018年度は社外での地域貢献活動も積極的に推進、参加してまいりました。</p> <p>引き続きにこれらの活動に多くの社員が関わっていくことによって、会社全体の環境や地域社会に対する意識を高めてまいります。</p>			

代表者による 全体評価・ 見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境方針	 有  無	
	2 環境目標	 有  無	
	3 環境活動計画・取組項目	 有  無	
	4 環境に関する組織	 有  無	
	5 その他のシステム要素	 有  無	
	6 その他(外部への対応)	 有  無	